

令和4年度（所属名）不祥事ゼロプログラムの検証等

○ 課題・目標別実施結果

課 題	目 標	実施結果と目標の達成状況
法令遵守意識の向上	職員行動指針、倫理に関する指針を周知徹底し、過度のストレスがかからない環境づくりに努め公務内外の不祥事を防止する。	綱紀の保持に関する通知は、速やかに朝の打ち合わせにおいて周知し、不祥事防止職員啓発・点検資料を活用しての研修は、職員会議後の事故不祥事防止研修にて実施し、全職員の法令遵守の意識向上、服務についての確認を行うことができた。
職場のハラスメントの防止	教職員一人ひとりが、ハラスメントについて理解し、良好な職場環境を作る。	ハラスメント防止、それに向けた風通しの良い職場作りのために、アンガーマネジメントの研修を実施した。研修会を通し、学年や部門、年齢の垣根を超えた交流ができた。また定期的な面接により、職員間に生じる問題等について把握し、早期の対応を心掛けた。
生徒に対するセクハラ、わいせつ行為の防止	自身の言動に客観的な視点を持ち、かつ人権尊重の意識を高め、セクハラ、わいせつ行為の発生を未然に防止する。	生徒との距離感、また適切な接し方については、事故不祥事防止研修の機会に注意喚起を行い、職員の意識向上を促した。校内研究、また事故不祥事防止全体研修会では、学年や部門、年齢の垣根を超えた情報交換を行うことで、良好な関係づくりの一助となった。
体罰、不適切指導の防止	チームで指導に当たる意識を持ち、人権尊重の意識を高め、体罰、不適切指導の発生を未然に防ぐ。	生徒指導では、生徒支援班が対応の中心になり組織的に行うことで、個人の行き過ぎた指導を防止している。生徒を「さん付け」で呼ぶ意識はついてきている。どんな場面でも行えることが今後の課題である。
個別教育計画、進路関係書類の作成及び取扱いに関する事故防止	重要書類の記載内容のダブルチェックと取扱い規則遵守の徹底により、事故を未然に防ぐ。	学年リーダー、部門長の確認により、不適切な表現やご記載を防止することができた。個人情報の文書、データの持ち出しには、必要な手続きを取ることで、外部への流出の防止を徹底することができた。
個人情報管理、情報セキュリティ対策	規則遵守を徹底することで、適切な個人情報の管理を行う。	受け取り票を作り、確実に回収するようにしている。配付物については、各クラスで誤配付のないように、ダブルチェックをしたり、個人名がある物は、教員が連絡袋に入れたりして対応している。個人情報を暗号化サーバに保存することができてきているが、サーバ内のフォルダが未整理である。今後も情報セキュリティの研修等で個人情報保護、管理を徹底していきたい。保護者の事前確認を徹底することで、確実に保護者の了解のもと個人情報を使用することができている。
交通事故防止及び酒酔い、酒気帯び運転防止	交通事故の発生及び酒酔い、酒気帯び運転を未然に防止する。	折に触れ、また長期休業前などは特に注意を喚起し、交通違反、事故防止の意識向上につなげた。飲酒を伴う集まりの多い年末には、職員全体へ不祥事防止啓発点検資料を活用した研修を行うことで、未然防止の周知徹底を図った。

業務遂行時の事故発生防止	適切で効率的な業務管理、業務遂行を行うことで、疲労蓄積等による事故を未然に防止する。	部門長、学年リーダー、班長、グループリーダーの進行管理により、期限を守った業務の遂行が行われた。班やグループによって差はあるが、teamsのチャットを使った連絡が定着しつつある。
財務事務等の適正執行	会計業務の不適切な処理を未然に防止する。	会計担当者中心に会計業務の周知徹底を行うことで、不適切な処理はなかった。給食会計業務について、学年の会計担当、班の担当との業務分担が未整理であり、スムーズで正確な会計処理に向け、今後組織を検討していく必要がある。

○ 令和4年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和5年度に取り組むべき課題 (学校長意見)

不祥事ゼロプログラムに従い、不祥事防止会議、事故不祥事防止研修を年間計画に位置付け、不祥事ゼロを目指した会議、研修を実施することができた。職員全員を対象とした全体研修会は、年2回実施し、その中で部門や学年、年齢の枠を超えて、職員同士が意見交換する機会を作ることができ、風通しの良い職場環境につなげることができた。今後もこのような機会を設けることで、互いが意見交換、情報共有しやすい環境づくりをしていきたい。また人権意識を高めていくためにも、生徒の「さん」付け呼称を引き続き啓発していくことが必要である。今年度より始まった給食の会計業務については、よりスムーズで正確な会計処理に向け、組織の検討を行っていく。今年度実施して良かった点は更に推進し、反省点は改善策を考え、不祥事防止会議、事故不祥事防止研修を効果的に実施することで、全職員が未然防止の意識を持つことができるよう働きかけていきたい。